



## 平成最後の桜を満喫

(4月14日)

南部公園や桜堤北公園などを会場に、サクラサクマツリが開催されました。多くの家族連れが訪れ、記念写真を撮ったり花びらを手に載せたりしながら、平成最後の桜を満喫していました。飲食物の販売や地元アーティストによる歌が披露され、イベントに花を添えました。

特派員：鈴木 敬盛

## てんぐを先頭にみこしが練り歩く (4月14日)

世界遺産の須山浅間神社で春の例大祭が行われました。無病息災、五穀豊穡を祈る厳かで伝統的な式典の後、てんぐを先頭にみこしとしゃぎりの列が氏子の里を巡行しました。見ているだけでパワーをもらえるような、身が引き締まる祭りでした。

特派員：杉本 武満、中村 隆司



## ロケ地公開！パネル展

(4月20日～5月6日)

ロケ支援作品 映画『キングダム』の「ロケ地公開！パネル展」が須山十里木蕎麦畑で行われました。初日はポスターなどが当たる企画や先着100人に須山うどんが振る舞われました。来場者は、作品や登場人物などを紹介するパネル展示を見たり、まき割りやまき背負いを体験したりして映画の世界を堪能しました。

## 深良用水の恵みに感謝

(4月28日)

第6回深良用水まつりが深良小学校と周辺で開催されました。岩波区民によるはやしと太鼓の演奏を先頭に、江戸時代の人々に扮した140人の仮装行列が約3キロメートルを練り歩きました。会場西側の水田では、早乙女14人が深良用水の恵みに感謝し、お田植初めを行いました。

特派員：小林 建次、杉本 武満、鈴木 敬盛





**親子で力を合わせて大物を狙え！** (5月5日)

麦塚区の用水路でマス釣り大会が行われました。地域の親子らが参加し、持参した釣り竿を手に大物を釣ろうと意気込んでいました。釣ったマスの計測を行う企画では、大物を釣った参加者に賞品が渡されました。最後は用水路の水量を少なくし、子どもたちは用水路の中でつかみ取りを楽しみました。

特派員：権田 孝一、小林 建次

**安全をつなげて広げて 事故ゼロへ** (5月10日)

春の全国交通安全運動の開始式と早朝街頭キャンペーンが行われました。交通指導員や交通安全協会、安全運転管理協会など各種交通安全団体の会員ら約90人が参加し、市役所周辺でキャンペーンを行いました。参加者はのぼり旗を手に、ドライバーや歩行者に対し、交通安全を呼びかけました。

特派員：杉本 武満、原 久子



あの、その、すその **特派員リポート**

**■初夏の風にのって裾野路を走りぬくランナー** (5月12日)



中、富士山に向かって走る高低差のあるコースをランナーは日頃の練習の成果を発揮し、力走していました。沿道の多くの声援に支えられ全員無事に完走し、裾野市の初夏を満喫していました。



第43回富士裾野高原マラソン大会が、運動公園を発着点に開催されました。北は福島県、南は鹿児島県から市民ランナー約2,800人が集結。青空が広がって新緑の映える季節の



青い空に富士山がきれいに映える陸上競技場。響き渡る号砲を合図にランナーが走る中、夢中でシャッターを切る自分がいました。全国から集まったランナーの皆さんにファインダーを通し、歓迎の意を表すことができ幸いです。

広報特派員 渡邊 英機